

2013年8月1日～2024年7月31日の間に 当院においてCPAP治療を受けられた方及びご家族の方へ

「CPAP継続率に影響する因子の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	MEセンター	主任臨床工学技士	佐々木恵
研究分担者	川崎医科大学	総合内科学1	教授	友田恒一
	川崎医科大学総合医療センター	MEセンター	技士長補佐	西江和夫
	川崎医科大学総合医療センター	MEセンター	臨床工学技士	三橋礼史

1. 研究の概要

CPAP治療は治療開始直後（1か月～3か月）の使用時間や使用割合が重要とされ、継続率に影響すると言われています。当院では臨床工学技士がCPAP治療機器の説明や機械やマスクのトラブル対応も実施し対応しています。これまで対応した実績を検討し、CPAP治療がより長く継続できるよう検討を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013年8月1日～2024年7月31日の間に川崎医科大学総合医療センターにおいてCPAP治療を導入した方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院においてCPAP治療機器を導入した方で、研究者が診療情報をもとにPSG検査実施となった経緯やAHI数値、CPAPの各種データ（圧、使用時間、使用率、マスクリーク）を調査します。CPAPが中止に至った症例は継続期間を調査します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、AHI、PSG結果、BMI、健康保険の種類、CPAP設定圧、マスク種類、マスクリーク量、導入後のAHI、CPAP使用割合、CPAP使用時間 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センターMEセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とさせないので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター MEセンター

氏名：佐々木 恵

電話：086-225-211 内線 86042（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：chocolate@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。